

令和 2 年度 あだちっ子歯科健診※実施結果報告書（案）

あだちっ子歯科健診は、年少児（4 歳）～年長児（6 歳）が在籍する区内すべての教育・保育施設で、「統一基準の歯科健診」「ていねいな受診勧奨」「結果の集計・分析・フィードバック」をセットに実施している。令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、実施期間が約 5 か月後ろ倒しとなり、「むし歯がある子の割合」や「5 本以上未処置のむし歯を保有する子の割合」が増加に転じた年齢もあった。令和 2 年度の実施結果について、以下のとおり報告する。

※ あだちっ子歯科健診の概要は P10 へ

令和 2 年度 あだちっ子歯科健診実施結果報告書・目次

1 令和 2 年度施設参加率と受診率	P 1
2 令和 2 年度あだちっ子歯科健診結果【主な結果】	P 2
（1）乳歯にむし歯がある子どもの割合（H27～R2 年次推移）	
（2）① 5 本以上未処置のむし歯がある子どもの割合（年齢別・経年比較）	
② 施設種別 むし歯がある子どもの割合（R1、R2 年度比較）	
（3）区立保育園・こども園におけるむし歯の状況【同一の子どもの健診結果をつなげて分析】	
3 令和 3 年度の主な取り組み	P 5
4 糖尿病対策アクションプランー歯科口腔保健対策編ー【中間見直しによる改定版】進捗状況	P 5
5 資料編	P 6

1 令和 2 年度施設参加率と受診率

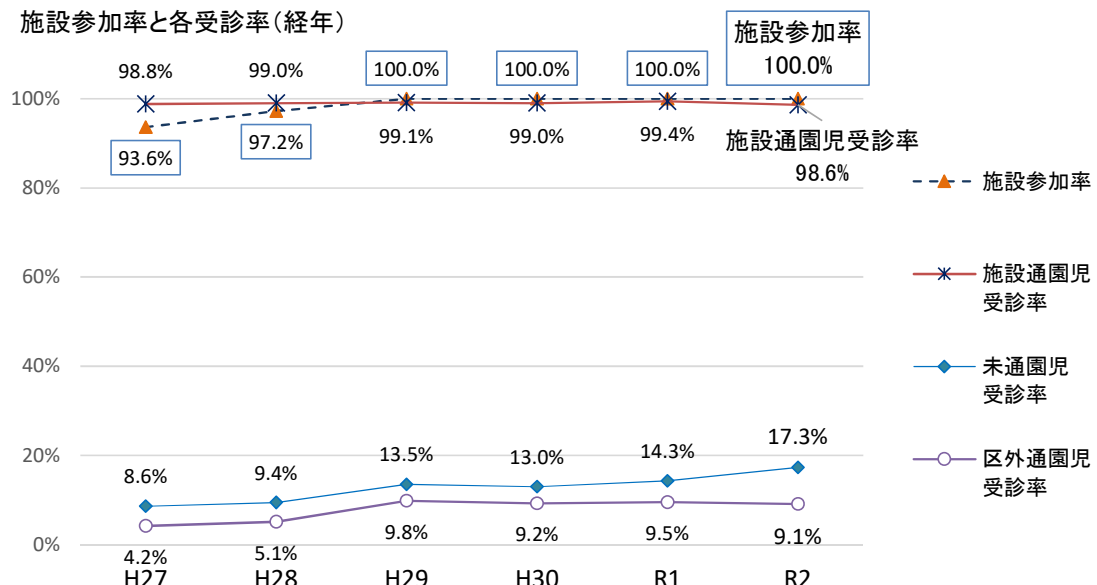
（1）教育・保育施設の参加状況

区内の教育・保育施設、計 221 施設（前年度比＋19 施設）で実施し、平成 29 年度から 4 年連続で参加率 100%となっている（図 1）。

（2）歯科健診受診率

施設通園児 98.6%（前年度比 0.8 ポイント減）、未通園児 17.3%（前年度比 3.0 ポイント増）、区外通園児 9.1%（前年度比 0.4 ポイント減）、全体では 93.3%（前年度比 0.1 ポイント減）の受診率であった。区内の教育・保育施設に通っていない子ども（以下、「未通園児等」という）は、個別通知用の封筒を目立つようピンク色に変更するなど、工夫したことにより、受診者数が増加している。

（図 1）施設参加率と各受診率（経年）

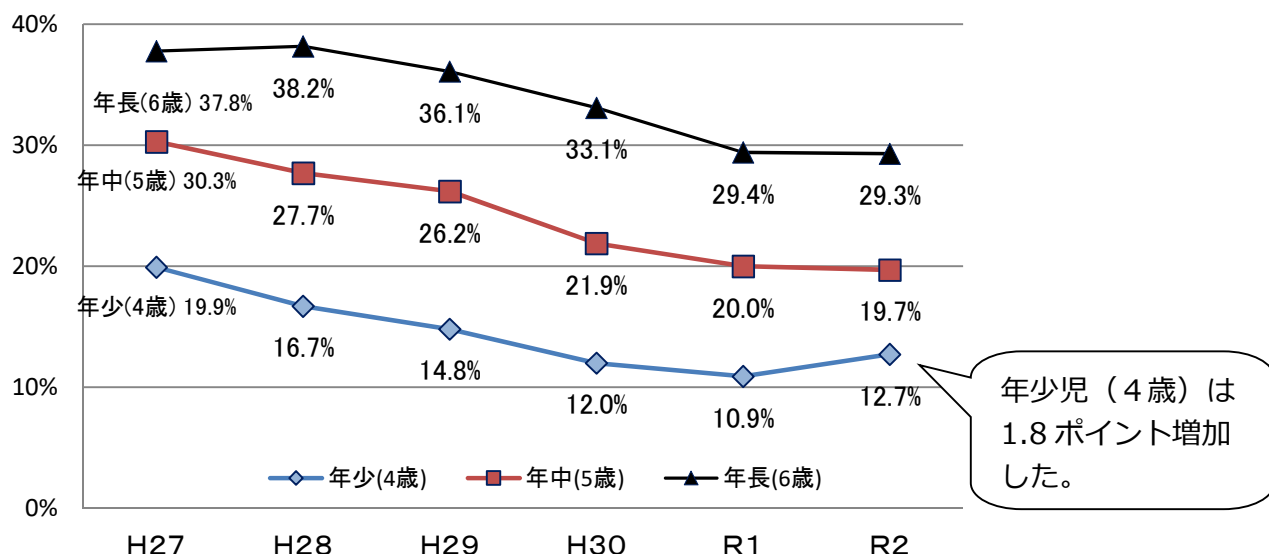


2 令和2年度あだちっ子歯科健診結果【主な結果】

(1) 乳歯にむし歯がある子どもの割合

乳歯にむし歯がある子どもの割合は、年中児(5歳)、年長児(6歳)は微減であった。
年少児(4歳)は、27年度にあだちっ子歯科健診を開始して以来、初めて増加に転じた。

(図2) 乳歯にむし歯がある子どもの割合(むし歯がある子どもの割合は、処置歯も含む)



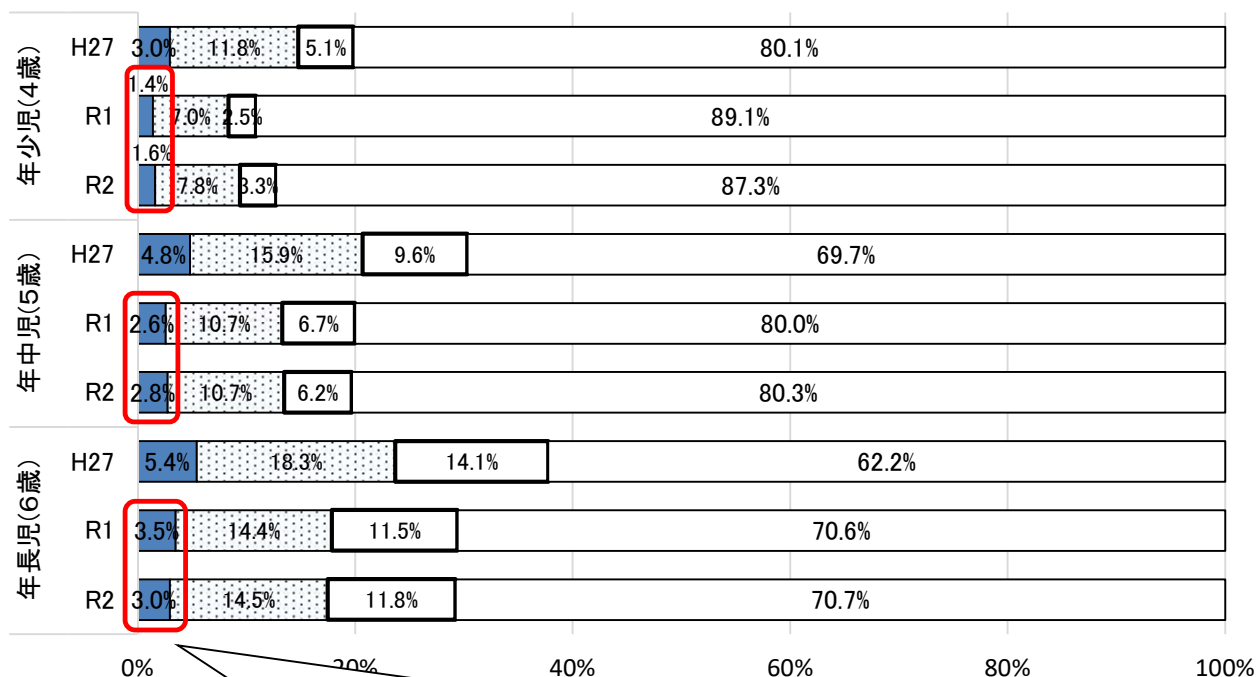
(2) 5本以上未処置のむし歯がある子どもの割合

① 年齢別・経年比較(H27、R1、R2年度)

平成27年度からみると全年齢で大きく減少しているが、前年度比では、年少児(4歳)、年中児(5歳)はともに0.2ポイント増、年長児(6歳)は0.5ポイント減であった。

(図3) 未処置のむし歯がある子どもの割合(H27・R1・R2年度比)

■5本以上 □1~4本 □0本(すべて処置済み) □むし歯なし



5本以上未処置のむし歯がある子は、年少児・年中児で増加している。

② 施設種別 未処置のむし歯がある子どもの割合（R1、R2 年度比較）

未処置のむし歯がある子どもの割合は、すべての施設種別で、年齢が上がるごとに増加している。5 本以上未処置のむし歯がある子どもの割合を前年度と比較すると、区立保育園・こども園を除いて、横ばいまたは減少傾向となっている（図 4～6）。

ア 年少児（4 歳）

（図 4）

イ 年中児（5 歳）

（図 5）

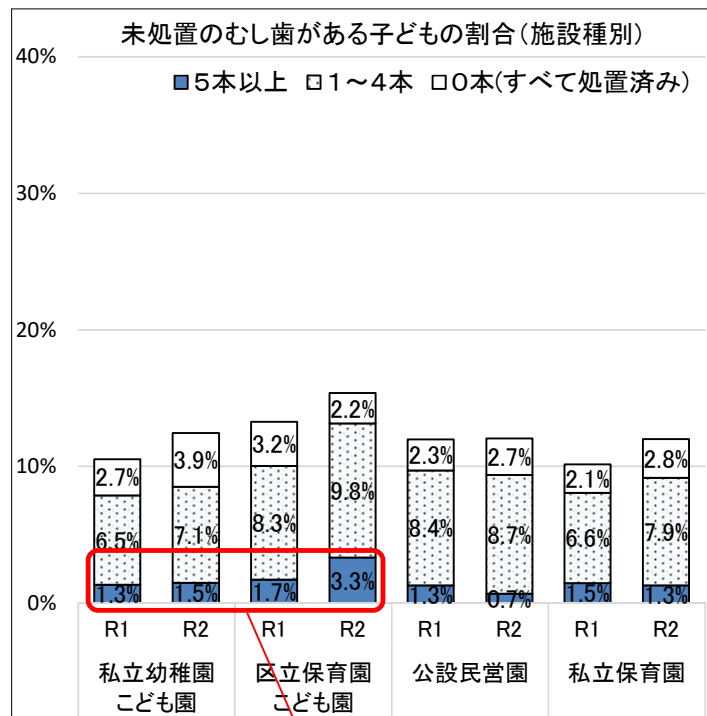
ウ 年長児（6 歳）

（図 6）

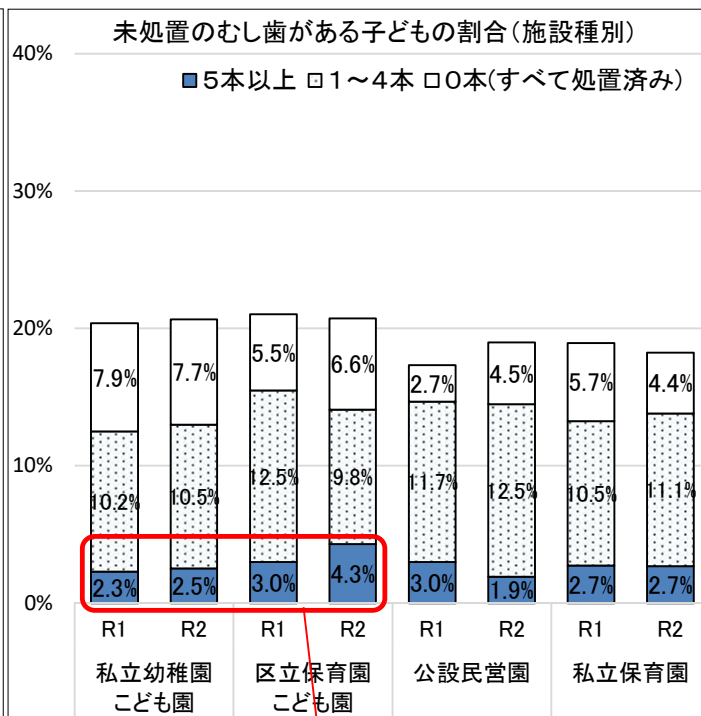
区立保育園・こども園は、未処置歯 1～4 本、5 本以上合わせて 3.1 ポイント増加している。

2 年度の未処置歯保有割合は 13～14%と、いずれの施設種別も、同程度となっている。

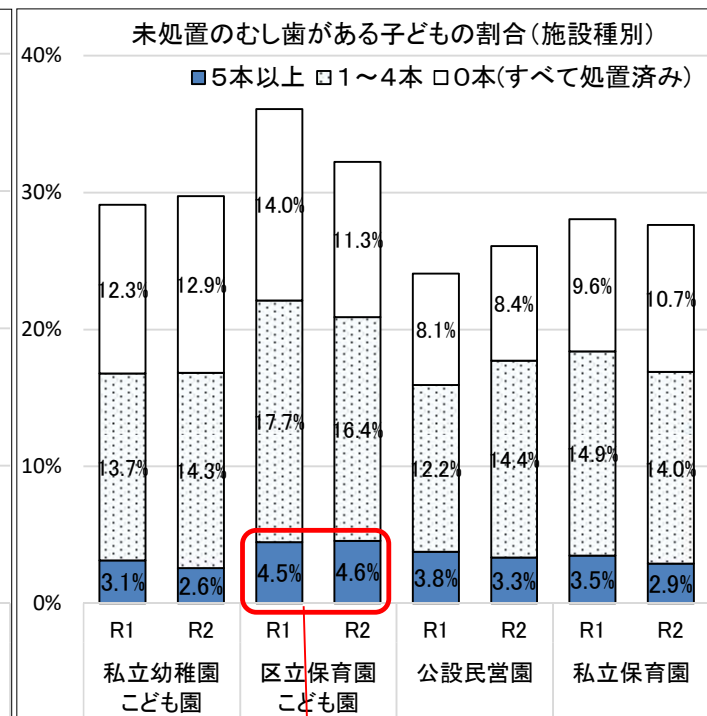
2 年度の未処置歯保有割合は、16%～21%、年中児より施設間の差が拡大している。



5 本以上未処置のむし歯がある子の割合比較（R1・R2）
区立保育園・こども園は、
1.6 ポイント増加
私立幼稚園・こども園は、
0.2 ポイント増加



5 本以上未処置のむし歯がある子の割合比較（R1・R2）
区立保育園・こども園は、
1.3 ポイント増加
私立幼稚園・こども園は、
0.2 ポイント増加



5 本以上未処置のむし歯がある子の割合比較（R1・R2）
区立保育園・こども園のみ、
0.1 ポイント増加

(3) 区立保育園・こども園におけるむし歯の状況【同一の子どもの健診結果をつなげて分析】

令和元年度および2年度に、区立保育園・こども園で歯科健診を受診した子どもの結果をつなげ、分析した。

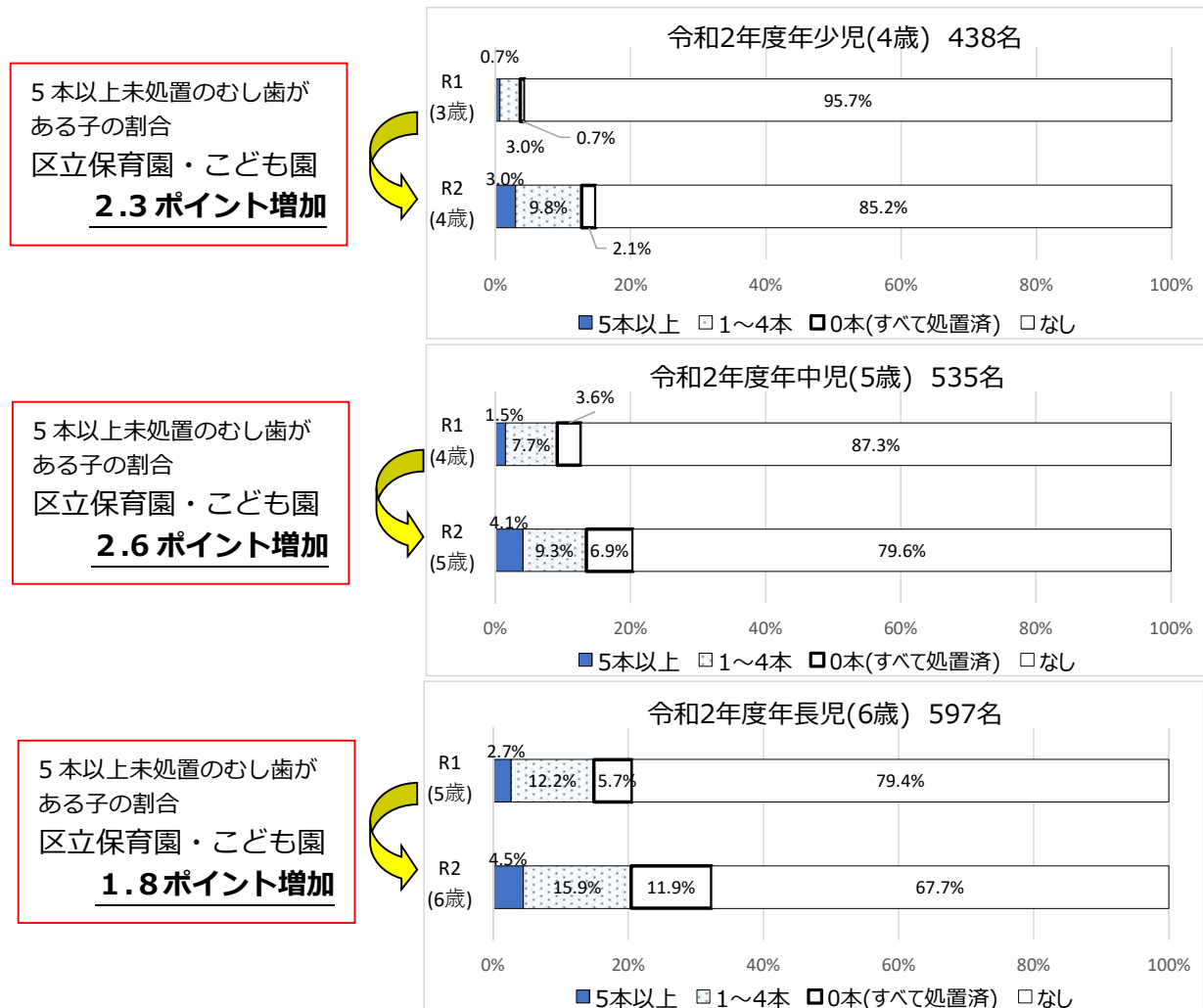
(表1) 分析対象者

	2年度	年少児(4歳) 540名	年中児(5歳) 603名	年長児(6歳) 636名
元年度	2歳児(3歳)	509	438	—
	年少児(4歳)	588	—	535
	年中児(5歳)	633	—	597

① 未処置のむし歯がある子どもの割合【同一の子どもの健診結果をつなげて分析】

5本以上未処置のむし歯を保有する子どもの割合は、全年齢で増加している(図7)。

(図7) 未処置のむし歯がある子どもの割合(R1→R2)

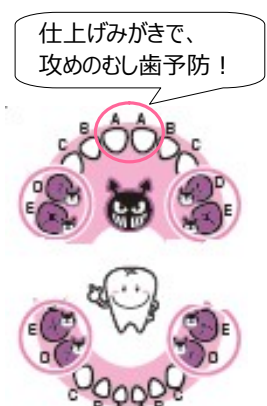


② 新たに増えたむし歯の部位【同一の子どもの健診結果をつなげて分析】

新たに増えたむし歯の部位は、表2のとおりであった。

(表2) 年齢別・新たなむし歯ランキング

	2歳児→年少児	年少児→年中児	年中児→年長児
1位	左上 A_29名	左下 D_33名	右下・左下 D_48名
2位	右上 A_28名	右下 D_32名	左上・左下 E_40名
3位	左下 E_17名	右下 E_27名	右上 E_39名



3 令和3年度の主な取り組み【子ども家庭部、衛生部が連携して取り組む】

(1) 歯科健診データを活用した「子どもの歯の健康づくり」の推進

① 区立保育園・こども園への支援を強化【子ども家庭部】

令和2年度歯科健診データを基に、未処置のむし歯がある子どもの割合が高い施設を優先に、「受診(治療勧奨)」や「保護者・職員による仕上げみがき」、ならびに「歯によいおやつ」等の啓発を強化し、子どものむし歯予防を推進する。

② 私立保育園、私立幼稚園における取り組みの支援【衛生部】

令和元年度以降に開設した保育施設を中心に、歯みがき習慣づくりを支援し、年少児(4歳)クラスから、子どもの歯みがき・保護者の仕上げみがきの開始ならびに習慣化を目指す。

(2) 未通園児の健診受診の推進【子ども家庭部】

昨年度に引き続き、健診期間前から区サービス利用者へ関係機関からの受診勧奨を積極的にすすめるとともに、受診状況を分析し、次年度の受診率向上に向けた取り組みを再度検証していく。また、新たに「ひとり親家庭」や「外国籍家庭」等の関係機関にも依頼し、周知先を広げていく。データ分析により抽出した前年度未受診者に対しては、複数回ハガキ等で受診勧奨をしていく。

(3) 定期学校歯科健康診断データとの分析を実施

定期学校歯科健康診断のデータ化に合わせて、乳歯と永久歯のむし歯の関係について分析・検討を行う。

4 「糖尿病対策アクションプランー歯科口腔保健対策編ー【中間見直しによる改定版】」進捗状況

あだちっ子歯科健診に関連する実績値及び目標値は、下記のとおりである。5本以上未処置のむし歯がある子どもの割合(年長児)は0.5ポイント減少した。

(表3)

		28年度実績 中間実績値	元年度実績 (2019年度)	令和2年度実績 (2020年度)	R4年度 目標値
① あだちっ子 歯科健診(4 ～6歳児)の 受診率を向上 させる	私立幼稚園・認定こども園	98.7%	99.4%	98.6%	100%
	区立保育園・認定こども園	99.1%	98.9%	98.5%	100%
	公設民営園	99.0%	99.3%	98.4%	100%
	私立保育園	99.7%	99.7%	98.9%	100%
	認証保育所	98.5%	99.3%	97.8%	100%
	未通園児等	7.7%	12.5%	14.1%	15%
② 受診(治療) 報告書提出率	私立幼稚園・認定こども園	49%	68.9%	61.4%	60%
	区立保育園・認定こども園	62%	68.4%	74.0%	75%
	公設民営園	61%	78.7%	81.8%	75%
	私立保育園	68%	78.6%	77.7%	75%
	認証保育所	70%	64.7%	81.8%	75%
	未通園児等	50%	56.3%	87.2%	60%
③ むし歯がない子ども の割合	年長児	61.8%	70.6%	70.7%	70%
	小学1年生	59.8%	64.9%	67.5%	65%
④ 5本以上未処置のむし歯がある子 どもの割合(年長児)		5.1%	3.5%	3.0%	3%

－資料編－

1 令和2年度あだちっ子歯科健診の実施結果

(1) 参加状況および実施時期

新型コロナウイルス感染症拡大防止により、例年より約5か月後ろ倒しで、9月～11月に実施した。区内の教育・保育施設に通っていない子ども（以下、「未通園児等」という）へは、個別に通知を発送している。

（表4）

	施設数	参加数	参加率 (R1年度)	実施時期	備考
私立幼稚園 認定こども園	51	51	100% (100%)	令和2年9月～11月	年少児以上が在籍する施設
区立保育園 認定こども園	30	30	100% (100%)		
公設民営園	16	16	100% (100%)		
私立保育園	111	111	100% (100%)		
認証保育所	13	13	100% (100%)		
未通園児等	R2.9.1を基準日とし対象者を抽出			令和2年9月～11月	個別通知による歯科健診の勧奨

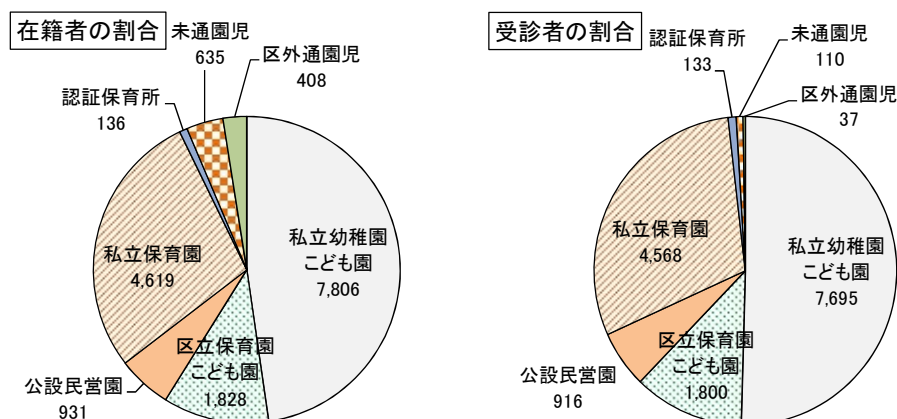
(2) 受診状況【各施設からの集計報告による実績値】

（表5） ※在籍者は、区外在住者を含む。未通園児等の在籍者は、対象者数を記載。

		年少児(4歳)		年中児(5歳)		年長児(6歳)		合計(人数)		
		在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者 (R1年度)	受診者 (R1年度)	受診率 (R1年度)
私立幼稚園 認定こども園		2,384	2,346	2,635	2,586	2,787	2,763	7,806 (8,233)	7,695 (8,181)	98.6% (99.4%)
区立保育園 認定こども園		556	550	625	611	647	639	1,828 (1,896)	1,800 (1,876)	98.5% (98.9%)
公設民営保育園		309	302	315	314	307	300	931 (940)	916 (933)	98.4% (99.3%)
私立保育園		1,585	1,568	1,588	1,565	1,446	1,435	4,619 (4,386)	4,568 (4,371)	98.9% (99.7%)
認証保育所		50	50	41	39	45	44	136 (149)	133 (148)	97.8% (99.3%)
未通 園児 等	未通園児	279	44	186	33	170	33	635 (720)	110 (103)	17.3% (14.3%)
	区外通園児	109	13	127	11	172	13	408 (432)	37 (41)	9.1% (9.5%)
合計 (R1年度)		5,272 (5,584)	4,873 (5,181)	5,517 (5,591)	5,159 (5,253)	5,574 (5,581)	5,227 (5,219)	16,363 (16,756)	15,259 (15,653)	
受診率 (R1年度)		92.4% (92.8%)		93.5% (94.0%)		93.8% (93.5%)		93.3% (93.4%)		

受診者の割合は、私立幼稚園が50.4%と最も多かった。未通園児の割合は3.9%に対して、受診者の割合は0.7%に留まっている。

（図8）在籍者、受診者の割合



（3） 未通園児等の未受診理由

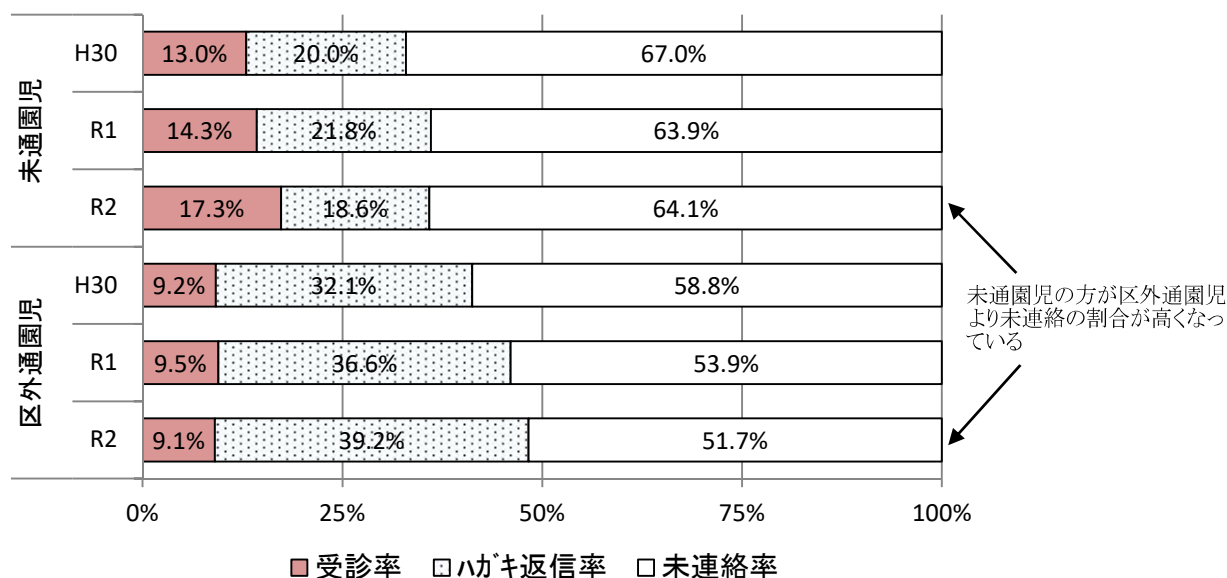
歯科健診の個別通知の際、健診を希望しない理由を調査するためのハガキを同封したところ、未通園児の18.6%、区外通園児の39.2%から返信があった。

（表6）

	対象者 (R1 年度)	歯科健診受診		未受診			
		受診者 (R1 年度)	受診率 (R1 年度)	希望しないハガキ		未連絡	
				返信数 (R1 年度)	返信率 (R1 年度)	人数 (R1 年度)	割合 (R1 年度)
未通園児	635 (720)	110 (103)	17.3% (14.3%)	118 (157)	18.6% (21.8%)	407 (460)	64.1% (63.9%)
区外通園児	408 (432)	37 (41)	9.1% (9.5%)	160 (158)	39.2% (36.6%)	211 (233)	51.7% (53.9%)
合計	1,043 (1,152)	147 (144)	14.1% (12.5%)	278 (315)	26.7% (27.3%)	618 (693)	59.3% (60.2%)

希望しない理由（複数回答可）は、「歯科医院に通院している」「歯科医院で定期的にチェックしている」「通っている施設で受けた」が多くなっている。

（図9）歯科健診を希望しない割合（ハガキ返信率）



(4) 「足立区保健衛生システム」登録数

受診者のうち、区内在住児の結果を「足立区保健衛生システム」に登録し、分析を行った。システム登録者数は14,483名で、全受診者の94.9%であった。

(表7) ※受診者には区外在住児もいるため、受診者数と登録者数は一致していない。

	年少児(4歳)		年中児(5歳)		年長児(6歳)		システム登録人数合計	
	受診者 (R1年度)	登録者 (R1年度)	受診者 (R1年度)	登録者 (R1年度)	受診者 (R1年度)	登録者 (R1年度)	受診者 (R1年度)	登録者 (R1年度)
人数	4,873 (5,181)	4,606 (4,922)	5,159 (5,253)	4,896 (5,004)	5,227 (5,219)	4,981 (4,939)	15,259 (15,653)	14,483 (14,865)
登録率	94.6% (95.0%)		94.9% (95.3%)		95.3% (94.6%)		94.9% (95.0%)	

(5) 歯科健診分析結果（足立区保健衛生システムに登録した子どもの歯科健診結果）

① 乳歯にむし歯がある子どもの割合（年齢別）

令和2年度の結果、乳歯にむし歯がある子どもの割合は、年少児(4歳)のみ増加した。

(表8) むし歯がある子どもの割合

	年少児(4歳)			年中児(5歳)			年長児(6歳)		
	受診者	むし歯有	有病率	受診者	むし歯有	有病率	受診者	むし歯有	有病率
平成27年度	4,829	959	19.9%	4,856	1,473	30.3%	5,014	1,894	37.8%
平成28年度	4,925	823	16.7%	5,086	1,408	27.7%	4,983	1,903	38.2%
平成29年度	4,868	719	14.8%	5,058	1,324	26.2%	5,134	1,854	36.1%
平成30年度	4,945	591	12.0%	4,926	1,080	21.9%	5,057	1,672	33.1%
令和元年度	4,922	536	10.9%	5,004	1,001	20.0%	4,939	1,453	29.4%
令和2年度	4,606	587	12.7%	4,896	965	19.7%	4,981	1,457	29.3%

② 乳歯にむし歯がある子どもの割合（施設種類別）

「乳歯にむし歯がある子どもの割合」の施設間の差は、年少児が3.4ポイント、年長児が6.1ポイントと、年齢が上がるごとに拡大している。

※認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため参考値とする（合計は含む）。

(表9)

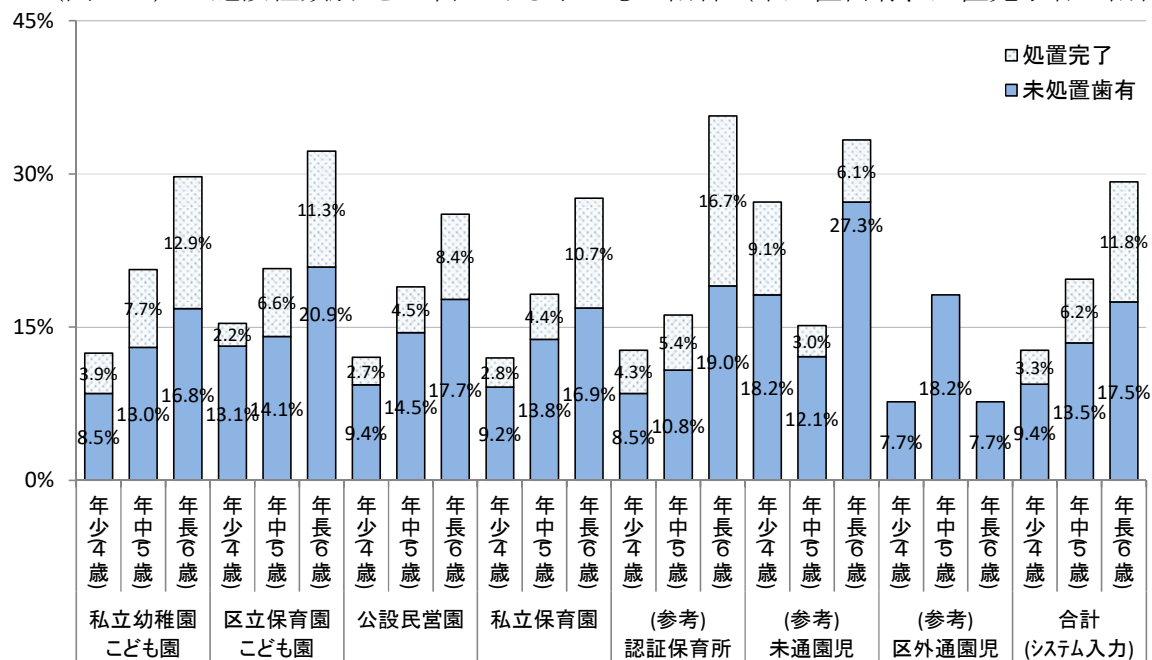
	年少児(4歳)			年中児(5歳)			年長児(6歳)		
	受診者	むし歯有	有病率 (R1年度)	受診者	むし歯有	有病率 (R1年度)	受診者	むし歯有	有病率 (R1年度)
私立幼稚園 認定こども園	2,113	263	12.4% (10.5%)	2,338	483	20.7% (20.4%)	2,532	753	29.7% (29.1%)
区立保育園 認定こども園	540	83	15.4% (13.3%)	603	125	20.7% (21.0%)	636	205	32.2% (36.1%)
公設民営保育園	299	36	12.0% (12.0%)	311	59	19.0% (17.3%)	299	78	26.1% (24.1%)
私立保育園	1,550	186	12.0% (10.1%)	1,563	285	18.2% (18.9%)	1,426	394	27.6% (28.0%)
(参考)認証保育所	47	6	12.8% (8.9%)	37	6	16.2% (34.0%)	42	15	35.7% (19.4%)
(参考)未通園児	44	12	27.3% (14.3%)	33	5	15.2% (26.3%)	33	11	33.3% (35.7%)
(参考)区外通園児	13	1	7.7% (23.1%)	11	2	18.2% (13.3%)	13	1	7.7% (46.2%)
合計 (R1年度)	4,606 (4,922)	587 (536)	12.7% (10.9%)	4,896 (5,004)	965 (1,001)	19.7% (20.0%)	4,981 (4,939)	1,457 (1,453)	29.3% (29.4%)

③ 未処置のむし歯(乳歯)がある子どもの割合（年齢別・施設種類別）

すべての年齢で、未処置のむし歯を有する子の割合が処置完了者を上回っている。

※認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため参考値とする（合計は含む）。

（図10） 施設種類別 むし歯がある子どもの割合（未処置歯有、処置完了者の割合）

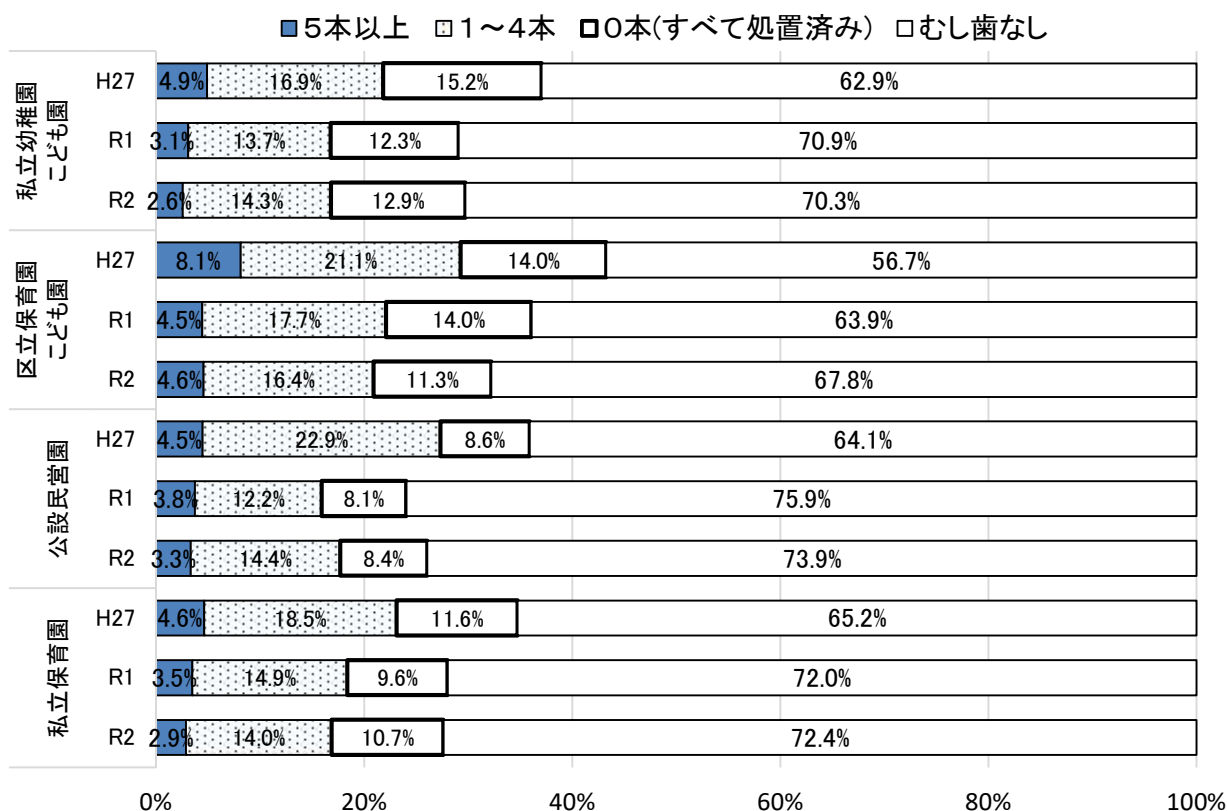


【参考】 元年度(合計)	処置完了率	年少	2.5%	年中	6.7%	年長	11.5%
	未処置有率	年少	8.4%	年中	13.3%	年長	17.9%

④ 施設種別・5本以上未処置のむし歯をもつ年長児の割合

年長児で、5本以上未処置のむし歯をもつ割合は、区立園を除き、減少している。

（図11）施設種別・乳歯に5本以上未処置のむし歯がある子どもの割合(H27・R1・R2年度比)



⑤ 受診報告書の提出状況【施設からの集計報告による実績値】

歯科健診後に、治療・相談が必要な子ども（※1）に対し、保護者が歯科医療機関を受診した結果が、教育・保育施設より受診報告書として提出されている（※2）。

なお、未通園児等の受診報告は、保護者から区に直接ハガキで報告する方法を採用している（※3）。

令和2年度における受診報告書の提出率の平均は69.5%で、元年度と比べて2.3ポイント減少した。

※1 未処置のむし歯(C)及びむし歯になりそうな歯(CO)がある、または歯肉、歯垢、かみ合わせで治療・相談が必要な子ども。

※2 概ね歯科健診から2か月程度経過した時点での報告率。

※3 未通園児等は、サンプル数が少ないため、参考値とする(合計には含む)。

(表10)

		年少児（4歳）		年中児（5歳）		年長児（6歳）		合計(人数)		
		発行数	報告数	発行数	報告数	発行数	報告数	発行数 (R1年度)	報告数 (R1年度)	報告率 (R1年度)
私立幼稚園 認定こども園		465	272	653	420	814	494	1,932 (2,030)	1,186 (1,399)	61.4% (68.9%)
区立保育園 認定こども園		129	89	158	113	206	163	493 (478)	365 (327)	74.0% (68.4%)
公設民営保育園		64	49	89	72	100	86	253 (253)	207 (199)	81.8% (78.7%)
私立保育園		304	234	371	284	442	350	1,117 (1,008)	868 (792)	77.7% (78.6%)
認証保育所		9	8	9	9	15	10	33 (34)	27 (22)	81.8% (64.7%)
未通 園児 等	未通園児	13	11	6	6	11	10	30 (33)	27 (19)	90.0% (57.6%)
	区外通園児	2	2	4	3	3	2	9 (15)	7 (8)	77.8% (53.3%)
合計 (R1年度)		986 (980)	665 (694)	1,290 (1,297)	907 (951)	1,591 (1,574)	1,115 (1,121)	3,867 (3,851)	2,687 (2,766)	
報告率 (R1年度)		67.4% (70.8%)		70.3% (73.3%)		70.1% (71.2%)		69.5% (71.8%)		

2 あだちっ子歯科健診の概要

(1) 目的

「足立区糖尿病対策アクションプランー歯科口腔保健対策編ー」の一環として、むし歯が増えやすい年少児(4歳)～年長児(6歳)を対象に、(公社)東京都足立区歯科医師会、各保育施設、こども園、幼稚園等が連携・協調しながら、①統一基準の歯科健診、②丁寧な受診勧奨、③集計・分析・フィードバックをセットにした「あだちっ子歯科健診」を実施し、むし歯予防および早期の治療に繋がる取り組みを進めている。

【あだちっ子歯科健診のポイント】

- ① 統一基準(帳票、健診基準等)の歯科健診を実施
- ② 健診後、歯科受診が必要な子どもの保護者に丁寧な受診勧奨を実施
- ③ 歯科健診結果の集計・分析・フィードバック

(2) 対象者

通園の有無に関わらず、年少児(4歳)から年長児(6歳)、全ての幼児

※区内の保育施設、こども園、幼稚園においては、在籍する区外在住者も含めて実施

(3) 実施方法および今後の目標

① 統一基準の歯科健診

足立区歯科医師会に委託(区立認定こども園のみ嘱託医)し、施設および会員歯科診療所で歯科健診を実施する。足立区歯科医師会の協力のもと、施設内健診、会員診療所での未受診者健診等を行い、受診率向上を目指している。

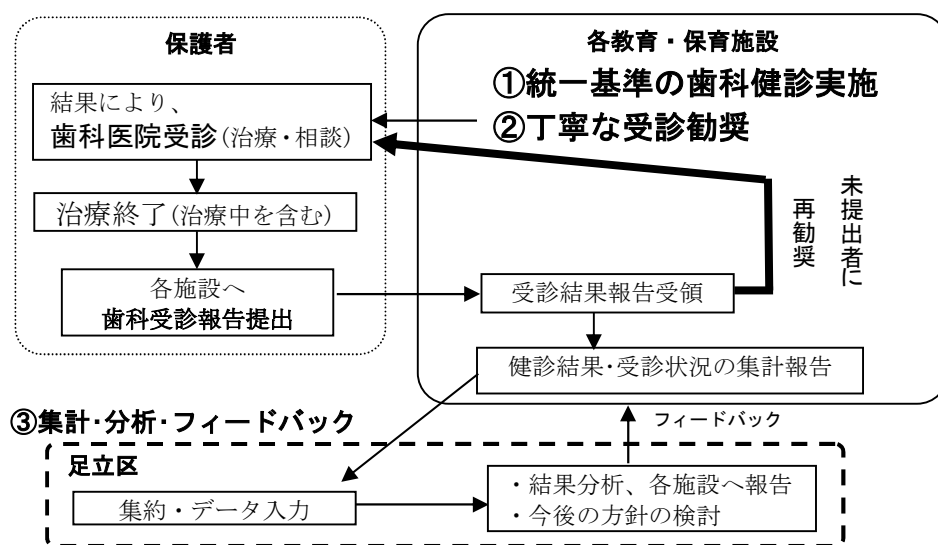
② 受診勧奨

各保育施設・こども園・幼稚園の協力のもと、保護者への丁寧な受診勧奨と受診報告書の確認をすることで、未治療の子どもの数を減らしていく。

③ 結果集計・分析・フィードバックと役割分担

各施設から歯科健診結果報告を受け、区は個人情報の適正な管理のもと足立区保健衛生システムに登録の上、集計・分析を行う。分析結果から、園児や保護者が望ましい生活習慣を獲得できるよう、効果的な「歯・口の健康づくりの取り組み」を検討・実施する。

あだちっ子歯科健診フロー図



【問合せ先】

●あだちっ子歯科健診の実施に関すること

足立区教育委員会子ども家庭部

子ども政策課子ども施策推進担当 03-3880-5266

●あだちっ子歯科健診の結果分析に関すること

足立区衛生部データヘルス推進課

多世代健康データ連携担当 03-3880-5601



区オリジナル・奥歯のはみがきキャラクター「おくばちゃん」